

1 令和6年度の成果と課題

- ・虫や小動物等が生息できる環境が少なく、それらと関わる経験が少ない。
- ・花や野菜を育てる活動では、お世話をすることやじっくりと観察することが難しい児童がいるなど、個人差がある。
- ・観察カードや記録カードにまとめることが難しい児童がいる。
- ・活動がさらに活発になるように、自分たちで作った道具をさらにより良くするための方法に気付く児童が少ない。
- ・1、2年で関わったり、こどもたち同士で取り組んだりする活動が増えた。

2 授業改善のポイント及び改善策

- ・五感を使った体験活動を多く取り入れる。
- ・観察する視点を明確にし、どの部分をよく見ればよいかをはっきりと示す。単元の初期段階では、どのように記録すればよいかを写真やICT機器を活用して例示することで分かりやすくさせる。
- ・タブレット等を活用し、写真等で記録を残すことで、成長や変化に気付かせる。
- ・観察カードに記録をする際は、全体をかくのではなく、視点を明確にし、「見つける」「比べる」「例える」などの表現を広げる。さらに、身の回りのものの長さと比較する方法にも触れ、教科横断的に学習を進める。
- ・活動の楽しさを味わわせ、言葉・絵・クイズなどの自分たちで考えた多様な方法で表現し、考えや気付きを関連付けさせる。
- ・ふれあい活動を取り入れ、学校や地域の人々との関わりを取り入れることで、喜びを見いだしていく。